

蕨 9 広報WARABI

2013/平成25年
わらび・747

- 平成25年9月1日発行 / 発行所・蕨市役所
- <http://www.city.warabi.saitama.jp/>
- 蕨市の面積 5.10km²
- 8月1日現在人口：72,287人 前月比 -80人
男 36,787人 女 35,500人
世帯数：35,649
人口密度：14,173人/km²



おじいちゃんおばあちゃん 「いつまでも元気でいてね」

8月21日、南町地区留守家庭児童指導室のA館の児童17人が、心をこめて制作活動に取り組みました。「元気でいてね」と、それぞれの思いと似顔絵を添えた絵手紙。9月16日は敬老の日です。大好きなおじいちゃん、おばあちゃんの喜ぶ顔を見るのが待ち遠しいですね。

～今月の特集～

- 高齢者特集
- ぶちトマトくらぶ

わ
WARABI

生涯現役宣言

地域で新たな輝きを



安全できれいなまちづくりのために駅前の駐輪場の状況を巡回・管理する皆さん



培ってきた知識と経験を生かし、地域という新たな舞台で仕事のやりがいを再発見できる、蕨市シルバー人材センター。おおむね60歳以上の方が登録でき、400人が汗を流しています。2、3名では就業を通じて、いきいきと生活する3人を紹介します。未登録のかたも、同センターであなたの力を発揮しませんか。

剪 定が難しい木のほうがワクワクしますよ」と愛用のはさみを手に話すのは、河内行男さん。趣味の盆栽技術を生かしたいと会員になり、個人宅やマンションなどで植木の剪定を行っています。都内の企業に勤務していた頃は、仕事が多忙で地域との関わりがなかったという河内さん。今では知り合いも増え、「やっぱり住み慣れたまちで

住み慣れたまちで働くのはいいね。体力が続く限り、続けていきたいです。



Members File1
× 植木剪定

かわうち ゆきお
河内 行男さん 70歳

南町2丁目在住。40年以上勤務した都内の企業を退職後、会員になり、4年目。趣味の盆栽技術を生かし、植木の剪定作業に当たる



山登りで鍛えた足腰で高い場所でも脚立を使い身軽に剪定します(右が河内さん)

働くのはいいですね」と市内を精力的に飛び回ります。作業ではお客さんの大事な庭木を扱うため、要望をしっかり聞き、丹念な仕上げを心がけるのが信条です。その確かな技術と実直な人柄から、常連客も多く、繁忙期には順番待ちになることも。「必要とされるのは幸せなことですね。体力が続く限り働きますよ」と力強く語る河内さんです。

Members File2
×駅前清掃



えんどう
遠藤 フミさん 81歳

南町2丁目在住。子育てが一段落してから、市外企業で10年以上勤務。退職後、会員となり、駅前清掃のほか、家事援助なども行う

「いつもありがとう」
駅を利用する人からの
そのひと言が
励みになりますね。

りと、丁寧に作業をしています。「通勤や通学などで駅を利用する人が、気持ちよく歩けるようにしたいだけ」とにっこり。そうした熱心な仕事ぶりから、歩行者にお礼の言葉をかけられることも。「なによりの励みになりますね。仕事をしていると生活に張りが出るし、明るく過ごせる。健康でいられる秘訣ですね。」と元気いっぱい遠藤さんです。

どんな仕事も一生懸命取り組むことがたいせつよ」と、柔らかな口調で話す遠藤フミさん。会員になり、17年目。81歳の今も、月に15日程度の駅前清掃に加え、家事援助などで汗を流しています。もともときれいな好きで掃除が得意な遠藤さん。朝7時から2時間かけて行く駅前清掃では、東西口にわたって空き缶を拾ったり落ち葉を掃いた



まちの玄関口がいつもきれいであるように、心をこめて清掃します(左が遠藤さん)

小 気味よい金づちの音が響く工房でひとときわ作業に精を出す石井信義さん。以前から興味があった大工仕事に関わりたく、

先輩たちの指導を受け、
勉強の日々。
新たな出会いもあり、
刺激を受けますよ。

作業では、80代の先輩から指導を受けることも多く、「技術的なことはもちろん、充実した生活もお手本になりますよ」と話します。現役の頃は、機会が少なかった地域の人の交流に刺激を受けている石井さん。自身も技術の向上の

ため、教わった内容に一工夫を凝らしてみたり、本で調べたりと勉強の日々です。「いい製品を提供して、多くの人に喜んでもらいたいですね」という石井さん。新たな目標と出会いを通して、人生の第2ステージを謳歌しています。

Members File3
×家具再生



のぶよし
石井 信義さん 64歳

南町3丁目在住。大学職員として30年以上勤務。昨年、蕨市田衛生センター組合のリサイクルプラザで家具の再生作業に携わる



和気あいあいとした雰囲気の中で作業に取り組みます(左から2人目が石井さん)

**シルバー人材センターに
登録していっしょに仕事をしませんか**

高齢者の皆さんの経験や技術、やる気を就業を通して、地域に生かしませんか。

対象 = 健康で働く意欲のあるおおむね60歳以上の人 会員制 主な仕事 = 軽作業、清掃、公共施設の管理、除草、庭木の剪定、簡単な大工仕事 登録 = 公益社団法人蕨市シルバー人材センター (中央1-30-2 ☎433・0962)

こんな仕事
あります



①手芸(シルバーワークプラザ) ②公共施設の管理(けやき荘) ③洗濯(市立病院)

ご利用ください 福祉事業・制度



老人福祉センターの講座やクラブで地域の人と交流しませんか（けやき荘の俳画講座）

市では、高齢者の皆さんが健康で元気に暮らせるように各種事業を実施しています。ここ4、5分では、福祉事業や制度などについてご紹介します。ぜひご利用ください。

問い合わせ
介護保険室（☎433・7756）

給付・助成・融資など

●敬老祝金／9月1日現在で、歳市に引き続き1年以上住んでいる左表の年齢の人にお祝い金をお贈りします。

満年齢	金額
75歳	20,000円
77歳	20,000円
80歳	20,000円
85歳	20,000円
88歳	25,000円
90歳	30,000円
95歳	30,000円
99歳以上	50,000円

●福祉入浴サービス／65歳以上で自宅にお風呂のない人か、70歳以上で市民税非課税世帯の人に毎月4回分（7月と8月は6回分）の公衆浴場の入浴券（100円の自己負担あり）を差し上げます。

●福祉理美容サービス／70歳以上で市民税非課税世帯の人に年5回分、理美容の割引券を差し上げます。

●徘徊高齢者等家族支援サービス／徘徊行動のある高齢者が専用端末機を携帯することで、家族が本人の居場所を確認できるサービスの費用の一部を助成します。

●介護サービス利用料軽減助成／居宅及び地域密着型の介護（予防）サービスをご利用

の市民税非課税世帯の人に、負担の一部を助成します。

●家族介護慰労金／介護保険の要介護が4か5で、介護サービスを1年以上利用していない人を、在宅で介護している市民税非課税世帯の家族に、年額10万円を支給します。

●在宅要介護高齢者手当／在宅で要介護度が重い低所得の高齢者に、月額5000円を支給します。対象は介護保険被保険者で、市内に住所があり、次の要件を全て満たす人 ①65歳以上 ②施設に入所していない ③介護保険の要介護度が4または5 ④介護保険の保険料段階が第3段階以下（世帯全員が住民税非課税） ⑤生活保護を受けていない ⑥在宅重度障害者手当を受給していない人

●老人居室整備資金／60歳以上の人と同居しているか、これから同居しようとする人が、高齢者専用の居室を備えた住宅を建築する際の必要な資金融資を斡旋し、利子を全額助成します。

●民間賃貸住宅入居保証料助成／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税

お出かけください お年寄りを敬う会



昨年のお年寄りを敬う会（9月15日・市民会館）

とき 14日（土） 午前の部（午前9時半～11時半）／錦町・南町・中央1、2、6、7丁目地区 午後の部（午後2時半～4時半）／塚越・北町・中央3、4、5丁目地区
ところ 市民会館 対象 77歳以上の人（昭和11年9月30日以前に生まれた人）
内容 式典（長寿者表彰、お祝いの言葉など）、市内小学生による敬老作文の朗読、歌謡ショー、歳少年少女合唱団や塚越5丁目おはやしの会などの演技 問い合わせ 介護保険室（☎433・7756）

世帯の人が、市内の民間賃貸住宅を借りるときに保証人を確保できず、保証会社の家賃等債務保証制度を利用した場合に、初回保証料の2分の1（3万円まで）を助成します。

● **民間賃貸住宅家賃助成**／70歳以上の独り暮らしか、配偶者の一方が70歳以上の夫婦世帯で、市民税非課税世帯の人が民間の賃貸住宅に住み、①月額1万円以上3万円未満の家賃を支払っている場合は、月額6000円 ②月額3万円以上6万円以下の家賃を支払っている場合は、月額1万円を助成します。

● **介護予防のための住宅改修費を助成**／手すりの取り付けや段差解消、床材の変更、扉や便器の取り替えなどの改修。対象は次の①～③全てに該当する人 ①65歳以上の在宅高齢者 ②介護保険制度で要介護・要支援に該当しない人 ③世帯全員が市民税非課税 助成額は改修費用の3分の2以内で上限は10万円

● **社会福祉法人等利用者負担軽減助成**／介護サービスを利用中の市民税非課税世帯で生計が困難な人（条件あり）に負担の一部を軽減します。

在宅でのサービス

● **寝具乾燥サービス**／65歳以上の市民税非課税世帯の人で、寝具類の乾燥や消毒をすることが困難な独り暮らしの高齢者、または高齢者世帯に、毎月1回（11月～3月は月2回）、寝具乾燥車を派遣します。寝具の洗濯は年1回です。

● **配食サービス**／65歳以上の独り暮らしや夫婦世帯などで、食事の用意をするのが難しい場合、1食4000円で、温かい夕食をお届けします。

● **訪問理美容サービス**／介護保険の要介護4か5の寝たきりの人に、自宅で利用できる割引券を差し上げます。

生活用具の給付・貸与

● **日常生活用具購入費の補助**／日常生活で火災警報器、電磁調理器、自動消火器が必要と認められる65歳以上のの人に、購入費の一部または全額を補助します。所得税非課税の人は自己負担なし。

● **歩行補助つえがもらえます**／歩行に常時つえが必要な65歳以上の人は、紙おむつがもらえます／65歳以上の人で常時おむつを

必要と医師が認める人か寝たきりで常時おむつが必要な人以上で体が弱く、独り暮らしの人のお宅に、受信センターと直結した専用機器を設置し、緊急通報によるホームヘルパーの派遣や救急車の要請などのサービスが受けられます。

充実した毎日を

● **老人憩いの家みつわ苑**／交流プラザさくら内の「みつわ苑」（南町2丁目）は、60歳以上の人が利用できます。▼ **囲碁将棋サロン**／月～土曜日の午後1時～4時半 初級者、女性大歓迎 ▼ **喫茶ひだまり**／第3水曜日（今月は18日）午後1時半～3時 おしゃべりや読書など自由な時間を過ごしませんか。▼ **スカイワーク**／交流高圧電位治療器が利用可。午前9時～11時40分、午後1時～4時40分 ※この他催しも開催。詳細は交流プラザさくら（☎432・7271）

● **老人福祉センター**／対象は市内在住の60歳以上の健康体操や書道などの講座で教養を広げながら、友達づくりもできます。▼ **松原会館** 錦町3丁目 入浴施設の改修が

終わりました。午前11時から午後3時までの間で利用できます。休館日：日曜日、17日、24日 詳細は同館（☎443・6542） ▼ **けやき荘**（塚越5丁目）各10面の囲碁・将棋盤あり 初心者大歓迎 会員募集／①正会員は60歳以上の市民 ②ボランティア会員は小学生から59歳までの市民 午後1時半～4時（月2回 木曜日と年末年始を除く）年会費は①2000円 ②無料 詳細は同施設（☎441・0705）

介護予防・健康

● **地域包括支援センター**／要介護状態にならないよう、介護予防をはじめ、保健師、主任ケアマネジャー、社会福祉士などが中心となり、介護・福祉・医療・権利擁護などの支援を行います。内容は相談・支援、権利擁護、介護予防ケアマネジメントなど ▼ **蔵びんしやん教室**／転倒による骨折や寝たきりを防ぐ運動を行う教室。10月16日～11月13日 毎週水曜日 午前9時半 けやき荘 要介護認定を受けていない65歳以上の市民 25人（先着順）申し込みは9日～13日に同センター（☎434・6721）

趣味の高齢者作品展

とき：12日～16日の正午まで 中央公民館 内容：60歳以上の皆さんが作成した書道や絵画、写真などを多数展示します。問い合わせは介護保険室（☎433・7756）

塚越プラチナ学園

仲間をつくって楽しく学ぶ場です。とき：原則第3月曜日 午後1時半～3時 東公民館 対象：65歳以上の人 参加費：年間15000円 申し込みは申込書に参加費を添えて同館（☎442・4052）

ご利用ください

コミュニティバス ぷらっとわらび無料パス

無料パスを提示すると、運賃が無料となります。対象は75歳以上の市民 申請・交付は持ち物（身分証明書（後期高齢者医療被保険者証など年齢が確認できる物）、証明写真（縦3センチ×横2.4センチ）を2枚 ※原則、即日交付となります。申請は平日の午前8時半～午後5時に市役所2階安全安心推進課（☎433・7755）



①「どのダイコンが大きいかな？」と、探検中 ②力を合わせ、「ヨイショ！」大物を引き抜きました ③自然の恵みがたっぷり詰まったスイカ。重いけど落とさないでね ④「この野菜、初めて見た」、「ダイコンの仲間・ラディッシュって言うんだよ」 ⑤菜園内を観察。オイモもすくすく育っています



種まきや植え付け、水やり。全ての工程に愛情をこめて、一つひとつ生長を見守る。ボランティア9人の皆さんの流した汗が、農作物の味わいをいっそう豊かにしています



おいしい野菜作りは、よい土づくりから

心の触れ合いが 私たちの活かに

ぶちトマトくらぶ
ボランティアリーダー
かばさわ やすお
権澤 靖夫さん



住宅都市・蕨で暮らす子どもたちにとって、じかに土に触れ、自然を肌で感じる機会は、とても貴重です。同時に、私たちにとっても、子どもたちと触れ合える時間はたいせつです。みんなの喜ぶ顔が見たくて、菜園で作業するのが日課になってしまいました。次の収穫も楽しみです。

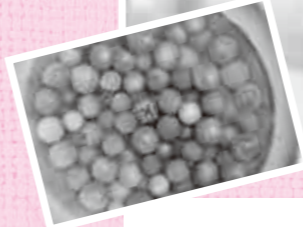


特集：ぶちトマトくらぶ



子どもたちの笑顔、今年も豊作です。

日本一の過密都市で 自然の恵みに培われた絆



中 央7丁目の一角。住宅に囲まれた429平方メートルの小さな空間から、「そろそろスイカが食べ頃だな」と、声が聞こえます。声の主は、中央地区の3つの公民館が運営する「ぶちトマトくらぶ」のボランティアの皆さんです。炎天下でも足しげく菜園に通う皆さんの思いは、種をまき、生長を観察し、収穫する。そんな生活の原点を、子どもたちに伝えたいということ。そうした支えにより、自然体験を重ねているのが、34人の小学生。「トウモロコシにはひげが生えてるの?」「野菜ってこんなに甘いんだね」と、元気な声を響かせています。帰り際には「今日もありがとうございました」。そんな世代を超えた触れ合いも、ぶちトマトくらぶの魅力です。ボランティアの皆さんの願いが通じたのか、この夏も収穫物がどっさり。そして笑顔も。もうすぐ、実りの季節・秋を迎えます。



互いに手を取り合いながら



レポート そここが知りたい

〈92〉

協働事業提案制度がスタート 市民と市が協力して魅力あるまちへ

「蕨市市民参画と協働を推進する条例」に基づき、市民と市が力を合わせ、地域課題を解決していかうと今年度創設された協働事業提案制度。今月はその内容と、同制度の下で実施が決定した2つの事業について、各団体のかたにお話を伺いました。

2事業の実施が決定

市では、市民の皆さんの声を基によりよいまちを目指し、まちづくりを進めています。また、コミュニティが盛んな蕨では、従来から市民の皆さんも主体的にまちづくりに関わっています。しかし、社会環境の変化などで、現状では解決できない地域課題も出ています。そうしたなか創設され

た協働事業提案制度は、市民活動団体がその専門性や柔軟性を生かした事業を市に提案し、協働で実施することで、地域の課題解決を図ろうとするものです。今年度は5団体から提案があり（右下囲み）、7月にプレゼンテーションと審査委員会が行われた結果、下囲みの2団体が提案した事業を実施することになりました。ともに市から補助金を受ける形で来年3月までに事業を行い、終了後、市と団体が評価をつけ、その効果を確認します。

協働事業名：「機織り体験教室」 ～はたごっこ～

まちの誇りを 子どもたちに



かわの けんじ 事務長

蕨の織物文化を継承していきたいとの思いで、活動している私たちは、今回の事業を通して、子どもたちに機織りのまちとして栄えた歴史や伝統的な技術、綿花の栽培方法などを伝えたいと考えています。全7小学校に向いて、市内で長年、機屋を営んでいた講師が織り機を使って、指導をします。この取り組みでまちへの誇りや愛着、そして、新たな担い手生まれるきっかけになれば幸いです。



はたごっこ(会員20人)

協働事業名：「自分らしく働きたい 母親を応援する事業」 ～NPO法人子育て応援クラブむくむく～

フェスタ開催で ママたち応援



おかもと ひろこ 代表

日頃から勉強会などを開き、子育て世代を応援する活動をしています。今回の事業では、フェスタを通じて、ママたちの仕事や子育てへの考え方を深めるきっかけづくりをしたいと思います。女性起業家による講演会や美容、手芸などの特技を生かした内容の出店ブースを設ける予定です。多くの人のご来場をお待ちしています。
とき＝来年1月19日(日) 午前10時～午後3時 ところ＝文化ホールくる



子育て応援クラブむくむく(会員11人)

【提案された5つの事業名】

- 機織り体験教室
- 自分らしく働きたい 母親を応援する事業
- ・ 蕨市分譲マンション実態調査
- ・ 蕨市民主体による 防災体制の地域モデル事業
- ・ 同じ地域で暮らす親同士が共に学び共に育つ「親の学び事業」

蕨 いま むかし

- 318 -

歴史広め続ける 機まつり

機まつり

古くは、織物産地として栄えた蕨。その歴史を伝えるとともに、町全体の産業の発展を願い、機まつりが開催されたのは、昭和26年のことです。昔の写真は、昭和28年、第3回機まつり花自動車パレードの様子です。中山道と蕨駅西口駅前通りの交差点付近で撮影された写真で、確認されている機まつりの写真では最も古い物です。昭和47年まで、祭りに先駆けて行われていた同パレードは、織物組合や紡績会社を中心に、ちょうちゃんや花飾りで自動車を装飾。多くの見物客が見守るなかを華々しく行進しました。今の写真は、8月2日から5日まで開催された第63回機まつりの様子。蕨駅西口駅前通りを主会場に、沿道は趣向を凝ら



情報ダイヤル

掲載は無料です
図秘書広報課 (☎433・7703)

〔無料で差し上げます〕

▶電動リクライニング式ベッド シングルサイズ 2年ほど使用 取りに来てくれる人<春原・☎432・6035>

〔仲間になりませんか〕

▶火曜太極拳クラブ 月4回火曜日 午後1時15分 中央公民館 月2,500円 初心者歓迎<竹内・☎445・8531>

▶南田碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料<井上・☎442・0259>

▶児童合唱団「野うさぎ」 土曜日 午後4時15分 南公民館 月3,500円 幼児~中学生<近藤・☎441・5659>

▶わらびシニアパソコンクラブ 24期生募集 10月開講 第1・3金曜日 午後1時半 中央東小学校隣・旧加藤文具2階 月2,000円 パソコン持参<額賀・☎432・5217>

▶楊名時(太極拳) 土曜日 午後2時半 蕨駅東口駅前ラ・セーヌビル 月4,500円<浦島・☎224・5915>

▶蕨北町サッカースポーツ少年団 土・日曜日・祝日 北小学校 月1,500~2,000円(未就学児は年間1,000円) 年中~小学生<小泉・☎090・4948・5936>

▶田中良忠貝画教室(蛤貝細密画) 月1回土曜日 午後1時 文化ホールくるる 月5,000円<田中・☎431・2959>

▶CANDDY(英会話) 木曜日 午後3時半 北町公民館 月1,800~2,000円 3~4歳<金子・☎090・7840・9317>

▶アーサナヨガクラブ 火曜日 午後7時 中央公民館 月2,000円<山崎・☎443・6095>

〔参加しませんか〕

▶イキイキ健康絆の会健康講演&アコーディオン演奏会 15日 午前10時 市民会館 300円<平田・☎444・2222>

▶日帰り旅倶楽部 城下町へ行こう・小田原へ 11月23日 1,000円<岩本・☎090・3431・4295>

▶ダンスパーティー 5日・21日・26日 午後1時 文化ホールくるる 499円<犬塚・☎441・7373>

〔ご相談ください〕

▶蕨断酒会(酒害相談) 3日=中央公民館 18日=南公民館 26日=旭町公民館 午後7時<岡田・☎441・3172>

まちの話題

蕨市と友好都市のドイツ・リンデン市で7月26日から8月6日まで国際青少年キャンプが開かれ、13歳から17歳までの青少年と指導者19人が参加。ドイツ・ポーランド・オーストリアの青少年とのキャンプやホームステイなどを通じて、国境を越えた心の交流を深めました。

リンデンで青少年交流



8月3日、塚越地区の平和事業の一環として、今年も地域の皆さんによる市民公園の清掃活動が行われました。参加した63人は、ほうきやモップを手に園内の平和の母子像や噴水などを清掃。心をこめて磨かれた母子像は、平和の象徴として輝きをいつそう増しました。

平和への願いをこめて



8月16日、福祉・児童センターで「なつまつり」が開かれました。館内は、輪投げやくじ引き、魚釣りなど、手作りの縁日コーナーがめぐる押し。更に、地域のボランティア48人がお祭りを一段と盛り上げ、親子連れなど、訪れた333人は、楽しい夏の1日を過ごしました。

恒例のお祭り大盛況!



災害に強いまちづくりを進めるため、8月22日、県内に11の営業所を持つ、株式会社伊藤園と協定を結びました。協定では災害時、同社の営業所拠点内にある飲料水等の提供や、災害対応型自動販売機の在庫品の無償提供などが定められ、災害への備えが更に向上しました。

株伊藤園と災害時協定



小雨模様となった8月25日、中央小学校で総合防災演習が開かれました。訓練では、初期消火訓練や水バケツリレー、一斉放水などを実施。更に今年度は、地域防災支援を行う中学生「WSS」の参加もあり、1065人は地域の連携や災害への備えのたいせつさを再認識しました。

まちで広げる防災の輪



した七夕飾りで彩られたほか、恒例の手踊りも披露されました。また、今年度は都市間交流の一環として、群馬県片品村や栃木県大田原市の物産販売などもあり、郷土の歴史を県内外に発信し続けていきます。会場は、延べ26万人の人流でにぎわいました。

市民の皆さんが主体 まちの環境美化を進める 自主管理団体

市民の皆さんが中心となって、公園や道路などの清掃・点検に取り組んでいる自主管理団体。まちの環境美化を推進しながら、地域に花を植える活動にも取り組むことで、安らぎと潤いをもたらしています。今月は、その活動についてご紹介します。



親と子の ニュースの 小窓

活動で交流や愛着を深めるきっかけに

ワラビ じいちゃん、その表彰状どうしたの!?
じいちゃん 自主管理団体の活動のなかで公園に花を植えているんだが、その功績が評価されて市から表彰を受けたんだ。
お母さん 7月に中央公民館で表彰式が行われて、3団体(どんぐり会、クリンアップあけぼの、ねむの木公園をきれいにする会)が表彰されたのよ。
ワラビ ところで、自主管理団体ってなあに?
じいちゃん 住民が中心となって、地域の公園や道路などを自主的に管理している団体のことだ。
お母さん 清掃活動や除草、施設の点検などを行う

つてくれているのよ。
じいちゃん 現在(7月末)、市内60か所以上で、39団体、2488人が活動に取り組んでいるんだ。
ワラビ すごいたくさん。
じいちゃん 多くの人が地域を支えている。市は、平成2年、みんなで手を携えて公共施設を守ろうと、「公園・歩道緑地帯自主管理実施要綱」を定め、活動を制度化したんだ。
お母さん 自主的な活動を応援して、市民参加のまちづくりを更に進めていこうということね。
じいちゃん そのとおり。活動は住民どうしの交流やまちへの愛着を深めるよい機会にもなっている。

「花いっぱい運動」で広がる憩いの空間

ワラビ 自主管理団体にはどうしたらなるの?
じいちゃん 原則20人以上の団体が対象で、週に1回以上の清掃や年に3回以上の除草など、定期的な活動が必要になる。
お母さん 人数によって

年額8万1000円以内で助成金がもらえるのよ。
ワラビ そうなんだ。ところで、管理活動とお花の表彰は関係があるの?
じいちゃん よく気がついたぞ。これは平成22年度から始まった、「花いっ



どんぐり公園(中央7-53)を清掃する「どんぐり会」の皆さん

ばい運動」という事業だ。
ワラビ 花いっぱい?
じいちゃん 家庭から出た生ごみを堆肥化してリサイクルフラワーセンターで栽培した苗を市が団体に配布し、それを公共施設などで育てる活動だ。
お母さん 昨年度は1万2490ポットが自主管理団体へ配られたの。
じいちゃん まちの景観を守りながら花を植える

ことで、地域に憩いの空間を広げているんだ。
ワラビ みんなが気持ちよく過ごせるのは、こうした活動のおかげだね。
お母さん だから、活動する人の身になってポイ捨てをしないなど、マナーを守ることも大事よね。
ワラビ うん。きれいなまちづくりに協力する!

問い合わせ〓道路公園課
公園係(☎433・7716)



ほっと・エッセイ 63

蕨の友好都市・ドイツ リンデン市を訪問

市長 頼高英雄

7月26日から8月2日の日程でリンデン市を訪問しました。蕨とリンデンは35年以上に及ぶ交流が続いており、蕨市制50周年では、代表団とともに、ヨーロッパパチャンピオンにも輝いたことがあ

市長就任来、さまざまな機会にご招待をいただきながら公務の都合で訪問できないでいましたが、このたび、リンデンで開催された国際青少年キャンプに合わせて訪問することができました。

キャンプでは、参加した蕨の青少年が海外の青少年たちとの交流を通じて日に日にいきいきとする姿を見て、この事業のすばらしさを確信することができました。

また、リンデン市への公式訪問や交流を通じて、リンデンのまちの美しき、リンデンの皆さんの友情と信頼を肌で感じることができ、たいへん有意義な訪問となりました。なお、今回の訪問では公費は使わないことといたしました。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は12日。10月は3日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課(☎433・7701)へ



子どもクラブ 響かせよう！優雅な和の心

下蕨公民館

自分の背よりも長い琴の前に座った子どもたちが、13本の弦をはじいた瞬間、余韻あふれる響きに包まれる館内。これは、下蕨公民館の「お琴体験教室」(全4回)のひとつまでです。同館で活動する「弦の響」の皆さんによる指導の下、7月23日から8月20日まで、小学生10人が日本の伝統文化を学びました。「きれいに音が出るようになると楽しい」と、自信をつけた子どもたちは、下蕨地区生涯学習フェスティバル(9月7日)への出演が決定。美しい音色とかわいらしい笑顔で魅了する舞台に注目です。

わが家のアイドル



りんか
凜花ちゃん
(5歳11か月)

けんた
健太ちゃん
(4歳2か月)

はが 良太郎さん
あか 彩香さんの
長女・長男

北町5丁目

-497-

「優しくて頼りがいのある姉の凜花(右)と、明るくて元気な健太(左)。最近では、おしゃべりが上手になってきた健太が凜花にいろいろと教わる姿を見かけます。その一つがバナナジュース作りです。『とんとんと』と、バナナを切る凜花の隣でミキサーのスイッチを押す健太。力を合わせて作ったジュースはほんとうにおいしいですよ。これからも、下の弟とともに、兄弟のつながりをたいせつにしてほしいですね」と話す、母親の彩香さん。



そ 咀 嚼

噛み砕くこと。噛むことは脳の刺激になります。「8020運動」の名称で、80歳になっても20本の歯を保とうという運動がある

かるた DE アンチエイジング



蕨市立病院
柴田優子 医師

ります。じゅうぶんな噛む力には歯が必要で、歯が減るとともに噛む力が弱くなってしまいます。動物では、硬い餌と柔らかい餌を与えた群を比べると、硬い餌をよく咀嚼した群は、学習能力が向上して、脳の老化遅延に効果があるという実験結果があります。歯を保つこと、口の中から始めるアンチエイジングもあるのですよ。よく噛んで脳に刺激を与えましょう。健康増進(アンチエイジング)外来は木曜日午後。詳細は市立病院ホームページで



ピアノの前で笑顔の中島さん

輝いています

作曲家

ひと

なか しま みつ ひさ
中島 満久 さん

合唱曲で創る笑顔の舞台

譜 面にのせた思いが流れるように音を紡ぐ。心をこめた曲で聴く人を魅了するのは作曲家の中島満久さん（27歳・中央1丁目）です。

中島さんの出身は広島県呉市。子どもの頃から歌が好きで、地元の呉少年合唱団や男声合唱団などで音楽と触れ合ってきました。そして、歌うだけでなく作曲にも興味を持つようになり、大学では作曲コースに進学。作曲については基礎から徹底的に学びました。

卒業後も音楽活動が続いていた中島さんにある転機が訪れました。平成24年の「全日本少年少女合唱祭全国大会」の開催地が呉市に決定し、そのテーマソングの作曲家として

て、地元出身の中島さんに白羽の矢が立ったのです。作曲に当たり、脳裏によぎったのがテレビで見た東日本大震災の悲しい光景でした。未曾有の災害が起きた今こそ、「心を一つに前を向いていこう」「生きる源になる曲にしたい」との思いが募りました。幅広い世代に親しまれるよう、試行錯誤を重ね、そして生まれた曲が「地球という『楽園』」。本番で曲が披露されると、目に飛び込んできたのは、児童たちのいきいきとした表情と一体感に包まれた会場でした。「シンプルなものメロディが心に響いた」と周囲からも好評で、「これまでにない感動を覚え、作曲家として生きる決意を新たにしました」と話します。

現在は、曲作りや合唱の指導で各地を駆け回る一方、蔵男声合唱団や混声合唱団の活動にも参加しています。「団の皆様さんとのやり取りから学ぶことも多いですね」と、すっかり地域に溶け込んでいます。「人と人とのつながりが深い、蔵のまちの温かさに愛着がわいています。いつの日か蔵の曲を作りたいですね」と、思いを膨らませる中島さん。その情熱で、蔵に更なる音楽の輪を広げてくれることでしょう。

紹介します！皆さんの市民活動

メッセージ



あさひ やすこ 旭 康子 会長

支え合う心たいせつに 広がる介護者支援の輪

超高齢社会と呼ばれる現代、ご家族への介護で、不安を抱えている人は多いのではないのでしょうか。私たちは、そんな介護者の皆さんをサポートするボランティア団体です。介護関連セミナーの参加者の有志によって、今年5月に発足したばかりの会で、現在、18人の会員で運営しています。

その活動の中心として、中央公民館との協働事業「ホッとお

**キラリ!!
みんなの力**

わらび介護者
「ホッとおしゃべりサロン」の会



中央公民館 ☎432・2530) でお待ちしております

しゃべりサロン」をスタートさせます。たいせつなご家族を介護されている人、これからされる人、終えられた人に気軽に参加いただき、悩みや現状など自由にお話をしながらくつろいでいただく場です。介護中は、孤立感を感じてしまいがちですので、仲間づくりや情報交換の場としてもご利用ください。

第1回目は10月3日です。今年度は原則、毎月第1木曜日の午後1時半から3時半まで、中央公民館で開催します。参加費は100円（お茶・お菓子代）で、時間中の入退室は自由です。一人だけで悩みを抱えないで、ホッと一息つきに来ませんか？

このコラムでは、わらびネットワークステーション（☎445・7256）の市民活動登録団体を紹介しています。